

入賞	橋梁の耐震性能を向上させる皿バネ式摩擦型ダンパー
技術開発者	(株)大林組 武田 篤史
	
受賞にあたって	
<p>このたびは、名誉ある国土技術開発賞（入賞）に選考頂きましたこと、心より御礼申し上げます。また、開発から実適用にあたってご尽力、ご協力くださった関係者の方々に対して、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。</p> <p>ダンパーを用いた制震橋梁はいまだにマイナーです。しかし、制震構造を選択肢に入れることで、設計の自由度があがり、より安全で合理的なインフラストラクチャーの構築に役立つと、確信をもって開発にあたってきました。この機会に、橋梁分野において、制震構造がよりメジャーになることを期待いたします。</p>	
受賞後の動き	
<p>阪神大震災以降、大型の地震が多く発生しております。これらに対する被害を最小限でくい止め、2次被害を出さないためには、橋梁の耐震性が非常に重要であると考えております。今後も、本技術にとどまらず、橋梁等のインフラストラクチャーの耐震技術を磨き、安全安心な社会の構築に貢献してゆきたいと考えます。</p>	